

大学入学共通テスト結果と今後の学習

1 共通テスト自己採点結果

今の感情に左右されず、客観的に自分の立ち位置を確認しましょう。木曜日頃までにおおよその情勢がわかると思います。不安なことは面談で先生に話したり、家族と相談してください。二次学力が合否を分ける要因となります。できる限り早いうちに切り替えて、対策を始めましょう。そして、自分が決めた志望を最後まで貫いてください。

ここからが本番です。さあ、みんなでがんばろう！(I)}

今の段階で一番必要なことは、浮き沈みしないこと。自己採点や校内平均、また、大手予備校の予想平均点に踊らされない。あくまで判定等のデータが届くまで待つこと。私からのよかった悪かったといった話は控えます。

また、共通テストの判定の如何に関わらず、最後まで自分を信じ、努力することによって変わりありません。そのことを早く悟りなさい。例えば、判定の結果によって、近年の受験生は受験先の動向が大きく動く傾向にあります。ならば判定が多少芳しくないとしても、二次の配点が高い大学が多いでしょうし、第一希望の合格を目指して邁進するのみです。点数が取れたと思う人も、油断できるはずはありません。互いに一喜一憂しているのも今日を区切りとしましょう。それでも悩む人は、面談で是非相談してください。

75回生のみなさん、毎日精一杯頑張ってください。今からの1ヶ月でまだまだ力は伸びます。周りへの感謝も忘れずに、「感恩報酬」。☺(S)

2 今後の学習について

① 素早く気持ちを切り換える。

- ・二次試験まで時間がない。すぐに第1志望校の二次試験対策に入る。決断が早いほど十分な対策ができ合格に近づける。受験校決定に不安があれば、担任、教科の先生にも相談する。
- ・二次対策の問題集を確認し、学習計画を立てる。教科の先生にも相談する。
- ・不安があれば、信頼している人に話すことを勧める。

② 今まで通りのリズムで過ごす。

- ・生活リズム、学習リズムを崩さない。登校するよりも自宅で学習した方が効率的だといって安易に遅刻・欠席する者は、概して失敗する。
- ・何事にも動じず落ち着いて「従容自若」の態度で学習する。

③ 今までのストーリーにない大学に出願しない。

- ・共通テストの結果によって、今まで口にしたこともない大学をいきなり口にする事があるが、良くない結果になることが多い。
- ・即断即決は重要であるが、全国情勢が判明する前に自分勝手に志望校を変更しない。
今までの担任の先生との面談、家族との話し合いの中で志望校は決めてきたはずである。決断するときは必ず信頼している人に相談する。

④ 粘り強く、最後まで学習を続ける覚悟を決める。

- ・共通テストで失敗して、「浪人だ」と決めつけてあきらめる生徒は、二浪する可能性が高い。
- ・決してあきらめない！ 国公立大前期試験まで40日、特別時間割は4週間半もある！
二次学力が弱い生徒でも、試験当日まで粘ると二次学力がつく。粘り強く行こう！
- ・気合いを入れ直して勉強しないと、濃厚ライン以上でも落ちることが多い。

⑤ 願書は細心の注意をもって記入し、自分で出願する。

- ・出願書類作成能力も入試の一部である。自分が受験する大学の手続きは自力で行う！ 試験に集中して臨むためにも、出願手続き時に不安を残さない。わからないことは聞いたり、調べたりする。

⑥ 私大入試の勉強をやりすぎない。(大本命の国公立大合格を優先する！)

- ・学習内容の優先順位を間違えない。大本命国公立大以外に体力・時間を使いすぎれば、消耗するだけである。

⑦ 出願する大学は、必ず受験することを前提とする。

- ・出願した以上は絶対に受験する。受験勉強から早く解放されたいからといって妥協しない。最後までやり切ることが、この先の人生の自信となる。

3 進路指導室内の資料について

- ・入退室時には挨拶をし、用件をはっきり述べる。先生が不在の時は入室禁止。
- ・進路指導室内の資料は持ち出し厳禁である。進路指導室内での閲覧、コピーに限る。